

【研究概要】

癌患者を対象として、手術時に骨格筋組織を採取し、筋衛星細胞や間葉系前駆細胞の数、脂肪変性の程度を調べる。また、包括的タンパク質発現解析や遺伝子発現解析を行い、正常筋組織におけるタンパク・遺伝子発現との差異を検出する。外科手術患者における異所性脂肪蓄積の病態を明らかにすることで、悪性腫瘍に伴う二次性サルコペニア・悪液質への治療戦略を探索する。また、手術時の骨格筋脂肪変性とその後の合併症リスク、治療の忍容性および生命予後に及ぼす影響を明らかにする。